

第30回 海洋教育フォーラム

平成28年度 第2回 岩手県海洋エネルギー産業化研究会・講演会



～海洋再生可能エネルギーと地域産業～

共催：公益社団法人日本船舶海洋工学会／岩手県海洋エネルギー産業化研究会

日本船舶海洋工学会では、今後の海運や資源開発の大きな可能性を持つ海洋の活用のため、児童、生徒、学生や一般市民に海に関心を持っていただき、海に関する知識を深めていただきたいと考え、全国各地で海洋教育フォーラムを開催しています。

今回、岩手県で初めての開催となりますが、岩手県釜石市沖は、平成27年4月に海洋再生可能エネルギー実証フィールドに選定されておりますことから、岩手県海洋エネルギー産業化研究会と共催することとし、地域産業とのかかわりに焦点を当てた企画といたしました。

学校、企業関係を含む多くの地域の皆様にご来場いただき、私たちの海への知識をさらに確かなものとする機会としていただくことを期待しております。

日時：平成29年2月9日（木）13：30～17：30

会場：釜石・大槌地域産業育成センター2階大会議室（岩手県釜石市大字平田3-75-1）

～プログラム～

I 開会（13：30）

II 挨拶 海洋教育推進委員会 委員長 小林正典、岩手県海洋エネルギー産業化研究会 会長 泉 修一

III 講演（13：50）

第1部 海洋エネルギーと技術開発

13：50～14：30 「海中ロボット」 東京大学生産技術研究所 准教授 巻 俊宏 氏

海洋に発電装置を設置した後のメンテナンス作業などに欠かせない、海中ロボットの技術を紹介します。

14：30～15：10 「海洋エネルギー発電事業と漁業」 東京大学生産技術研究所 准教授 北澤 大輔 氏

海洋再生可能エネルギー発電装置の開発の現状と社会受容性、特に漁業との協調の事例について紹介します。

第2部 釜石地域の海洋エネルギー開発（取組み報告）

15：20～16：00 「岩手県海洋エネルギー産業創出等基礎調査報告」一般社団法人海洋産業研究会 主席研究員 塩原 泰 氏

平成27年度に行った、海洋エネルギー産業拠点形成の基礎調査などについてご報告します。

16：00～16：30 「水中ロボット海域試験」 岩手大学理工学部 准教授 三好 扶 氏

岩手県沿岸の海域で進めている水中ロボットの作動試験や水産業などでの活用についてご報告します。

16：30～17：00 「模擬発電ブイの洋上設置試験」公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

海洋エネルギー産業化コーディネーター 高橋 修三 氏

地域企業が研究開発に取り組んでいる発電ブイの洋上での設置作業、作動試験についてご報告します。

17：00～17：30 「釜石高校・スコットランドEMEC訪問報告」 岩手県立釜石高等学校 EMEC訪問団

英国スコットランドオークニー諸島の海洋エネルギー実証フィールドEMEC訪問の成果についてご報告します。

IV 閉会（17：30）

～参加申込み、お問い合わせ～

- ・参加費：無料（2月3日（金）までにお申し込みください。定員（99名）になり次第、締切ります。）
- ・申込先：釜石・大槌地域産業育成センター（info@ikusei.or.jp） 電話 0193-26-7555
※氏名、職業、連絡先をお知らせください。 FAX 0193-26-7557
- ・日本船舶海洋工学会（海洋教育フォーラムのページ（<https://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>）をご覧ください。

講師紹介（敬称略）

.....

1 巻 俊宏（まき としひろ）

所属・職 東京大学生産技術研究所 准教授

新たな海中海底探査システムとして、自立型水中ロボット（AUV）などによる広範囲、高精度、長期間の海底観測を可能とするシステムの研究開発に従事。

岩手大学などが参加し昨年8月に横須賀市で行われた「'16 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC」の実行委員長を務めている。

.....

2 北澤 大輔（きたざわ だいすけ）

所属・職 東京大学生産技術研究所 准教授

超大型浮体式構造物が海洋生態系に及ぼす影響に関する研究や波エネルギー吸収船・海洋エネルギーに関する研究開発に従事。

平成26年度からNEDO次世代海洋エネルギー発電技術研究開発/リニア式発電プロジェクトに参加。また、水中カメラによる釜石湾の調査を行っている。

.....

3 塩原 泰（しおばら やすし）

所属・職 一般社団法人海洋産業研究会 主席研究員・研究部長補佐

海洋産業研究会は、昭和44年に海洋開発に関する産業団体として設立され、国、地方自治体、海洋関連企業等の委託による各種調査事業や自主研究を実施している。

平成27年度に岩手県が委託した「岩手県海洋エネルギー産業創出等基礎調査」で、釜石地域の企業ヒヤリングなどを実施し報告書を取りまとめている。

.....

4 三好 扶（みよし たすく）

所属・職 岩手大学理工学部 准教授

リハビリテーションロボティクス、バイオミメティクス（生体模倣工学）の研究開発に従事し、東日本大震災以降は水中ロボットの研究開発も行っている。

今年度、釜石市など岩手県沿岸の海中で水中ロボットの作動試験を進めている。

.....

5 高橋 修三（たかはし しゅうぞう）

所属・職 公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター 海洋エネルギー産業化コーディネーター

平成27年5月から海洋エネルギー産業化コーディネーターとして、岩手県海洋エネルギー産業化研究会の運営や、地域企業が製作する模擬発電ブイの洋上での作動試験などで計画や結果の取りまとめに従事している。

.....

6 釜石高等学校 EMEC訪問団

所属 岩手県立釜石高等学校 理数科3年 6名（指導教諭 SSH推進室 前川啓太郎）

釜石高校では、平成26年度から生徒が英国スコットランドオークニー諸島の海洋エネルギー実証フィールド・EMEC（European Marine Energy Centre）を継続して訪問している。

今年度も9月に生徒6名が、波力・潮力発電実証実験サイトを見学し、海洋再生可能エネルギー活用の取組みを学んでいる。